

発達協会セミナー：ことばとコミュニケーションの指導

# 二語文、三語文へと 高めるために

言語・学習指導室 葛西ことばのテーブル

三好純太

# 本講の概要

◎言語発達における文法習得の過程について

◎発達障害児の文法表現の指導法・家庭での支援方法について

◎可逆文習得以前までの文法学習を主な対象とする

# 文法の基礎知識

# 文法の基礎知識

- 日本語の文法構造
- 文法習得の過程

# ★文法とは何か？

それぞれの言語における

文の構造規則

# ● 日本語の文法構造

統語

語形態

# ● 日本語の文法構造

## ■ 統語

- \* 語を配列して文を構成する規則（語順）

## ■ 語形態

- \* 文を構成する語の形態変化規則

⇒ 助詞の付着（膠着語）

動詞・形容詞活用、助動詞付着

統語と語形態は相補的に発達して行く

## ◆ 日本語の特徴

★ 日本語は、助詞(格助詞)により、主語・目的語が決定



(格文法)

語順で意味が決定される英語と比較して、

語形態文法の重要度が高い



# 文法習得の過程

- 文の表出
- 文の理解
- 語形態の発達過程

# ★文構造の発達 【幼児期】

10ヶ月      1才      1才半      2才      4才      5才

---

象徴遊びの出現 → 始語表出 → 2語文表出 → 多語文表出 → 可逆文理解

★喃語活発化

★構音完成

# ● 文の表出 (綿巻・大久保らの研究より)

	● 構文の型	● 助詞・助動詞の種類 * その他の特徴
1才前後	一語文	
1才半	一語＋助詞	終助詞「ね」「の」
1才半～10ヶ月	二語文	* 疑問詞の出現(コレナニ?)
2才前後	三語文・多語文	格助詞、係・副助詞 * 発話明瞭度9割
2才半前後	複文(節)	助動詞の多様化 * 共同注意請求・心的状態語

# ● 文の理解

<S-S法> 言語発達遅滞検査より、60%通過達成年齢

1才10ヶ月	単語の理解 (事物名称成人語: +12/16語)	
—		
2才1ヶ月	2語連鎖 (動詞文もしくは形容詞句)	* 表出 2才3ヶ月
2才4ヶ月	3語連鎖 (動詞文もしくは形容詞句)	
—		
4才2ヶ月	可逆文: 語順方略	* 表出(助詞なし) 3才1ヶ月
5才11ヶ月	可逆文: 助詞方略	* 表出(助詞が・を) 4才0ヶ月

# ● 語形態の発達過程 (過去の事例研究から)

■ 一語文における意味内容

■ 「名詞」+「動詞」組み合わせの発達順序例

■ 動詞活用形

■ 助詞の獲得

# ■ 一語文における意味内容 ～内包する文法の発達～

\* 呼びかけ格 「パパ！」



\* 予格 「パパ(にあげる)」



\* 所有格 「パパ(のクツ)」



\* 仲間格へ 「パパ(と行く)」

# ■ 「名詞」+「動詞」組み合わせの 発達順序例

★ 場所格－行為

オウチデ タベタ



時間格－行為

オヒルニ タベタ

★ 行き先格－移動動詞

コウエンニ イク



始点格－移動動詞

オウチカラ イク

## ■ 動詞活用形

\* 新しい動詞 = 古い動詞形 + 形態素

例) タベル → タベルノ → タベルノヨ

⇒「くっつき説」(岩立)



## ■ 助詞の獲得

\* すべての助詞は3才頃までに初出

正用－誤用混在期



正用へ

# ★語形態の発達過程

全般に個人差、および各語彙による違いが大きい

# 文法習得の理論

● 格文法モデル（フィルモアの格生得論）

● ローカル・ルールから

グローバル・ルールへ

（岩立1997）

## ● 格文法モデル(フィルモアの格生得論)

発達の初期の段階においては、各言語に共通した、意味構造が認められる。

普遍的で生得的な概念の集合が、文法を形成する

ex. 行為者格－行為(例: パパガ イク)

対象格－行為((例: リンゴ タベル)

# ● ローカル・ルールからグローバル・ルールへ

## 《動詞研究からの知見》

(岩立1997)



文法習得を支える能力

# コミュニケーション環境

## 認知・思考

概念

記憶

状況認識能力

## 言語

音韻認識能力

構音能力

統語能力

## 感情・意志

動機  
(要求・関心)

情報処理能力(ワーキングメモリー)

## 【文法習得を支える能力】

■ 聴覚的把持力 : 文構成要素の把握

■ プロソディ : 文単位での音調の表現

■ 文発話に対する発動性 : 後天性障害との対照



# 文法能力の評価

- 評価の視点

- 検査

## ● 評価の視点

- 理解面—表出面
  - 受動的(検査・指導)場面—日常場面
- 

- 文の長さ(語連鎖)
- 助詞(格助詞)
- 動詞・形容詞活用
- 態(受動・使役・受動使役など)
- 視点・関係性に関わる表現

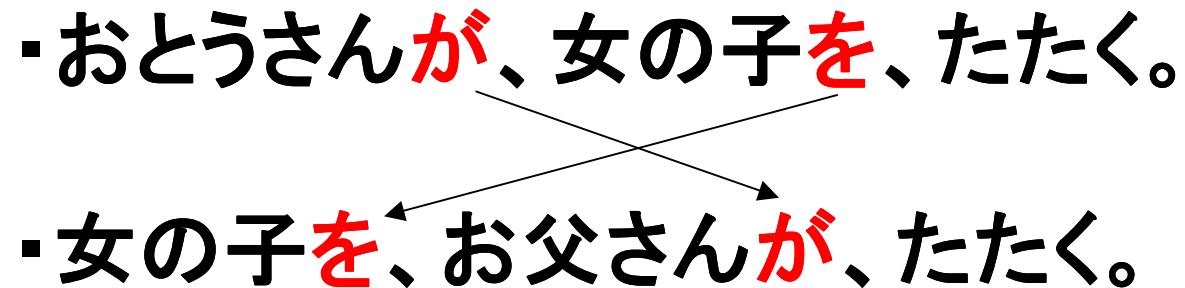
# ■ 受動的(検査・指導)場面—日常場面

## ★ コミュニケーション機能チェックリスト(S-S法検査より)

		氏名	記入年月日
機能	発話例		
要求	<input type="checkbox"/>	チョウダイ・～シテ	
許可	<input type="checkbox"/>	～シテイイ?	
勧誘	<input type="checkbox"/>	～シヨウ	
拒否	<input type="checkbox"/>	イヤ・～シナイ	
報告	目の前の出来事の報告	<input type="checkbox"/>	ワンワンイルヨ
	過去の経験の報告	<input type="checkbox"/>	～シタヨ (園での出来事など)
	未来の出来事の確認・予告	<input type="checkbox"/>	アシタ～ダネ アシタ～イコウネ

## ■ 助詞（格助詞） → 語と語の対応関係

- ・ボールが、イスの下に、ある。
- ・りんごを、ほうちょうで、切る。

- ・おとうさんが、女の子を、たたく。
  - ・女の子を、お父さんが、たたく。
- 

## ■ 動詞・形容詞活用

- \* 過去      ～た
- \* 否定      ～ない
- \* 現在
- \* 願望      ～たい
- \* 条件      ～れば
- \* 依頼      ～て
- \* 可能      ～る／～れる

## ■ 態

- \* 受動態      ウサギがライオンに食べられる
- \* 使役態      お母さんが妹に食べさせる
- \* 受動使役態      妹がお母さんに食べさせられる

## ■ 視点・関係性に関わる表現

- ◆ 授受表現(あげもらい文)
- ◆ 行く来る文
- ◆ 自動詞・他動詞
- ◆ 時制・アスペクト

◆授受表現 →だれを中心に述べるか  
(あげもらい文)

ひろし君が、妹に、花をあげた。

妹が、ひろし君に、花をもらった。

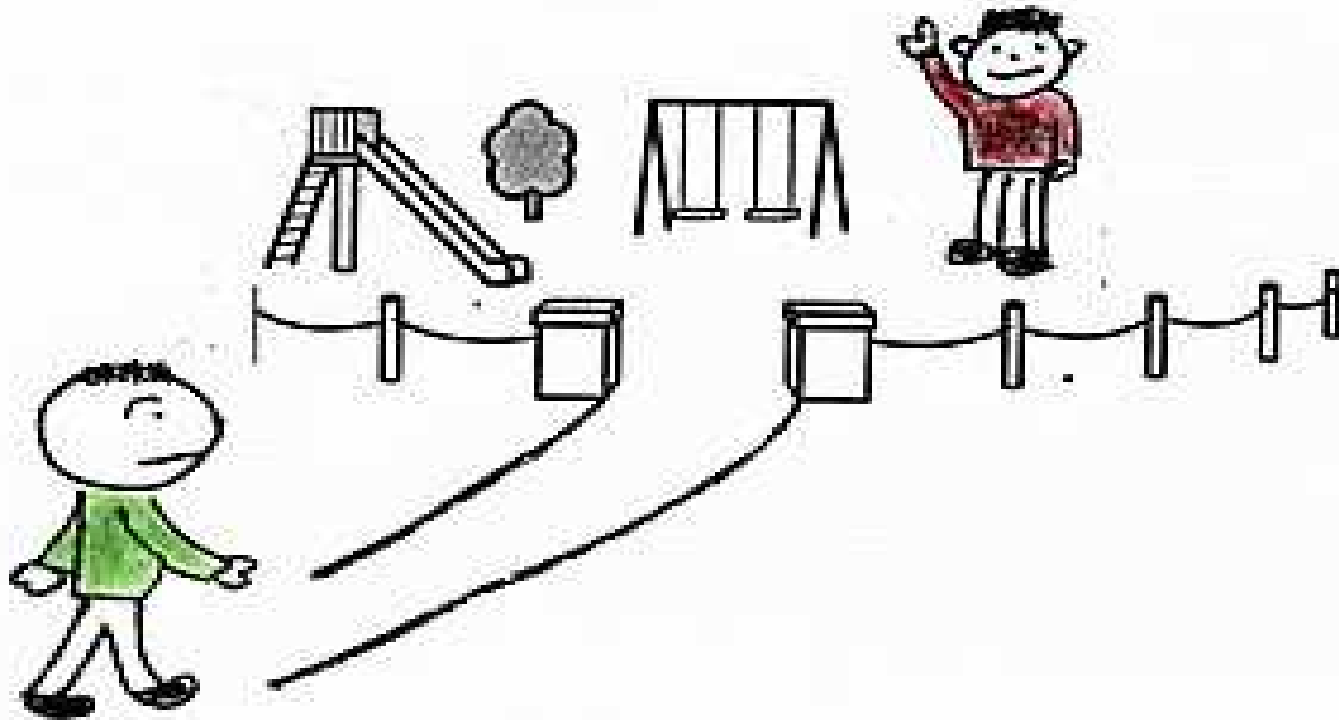
ひろし君が、妹に、花をくれた。





◆「行く」と「来る」 → 接近と離反

ひろしくんが 来る

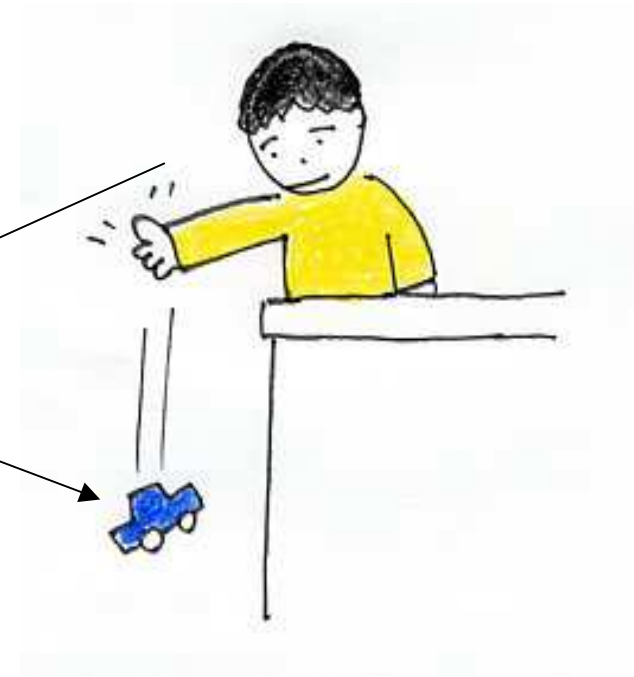


ひろしくんが 行く

◆ 自動詞・他動詞 →何を中心に述べるか

おもちゃが、落ちる。

おもちゃを、落とす。

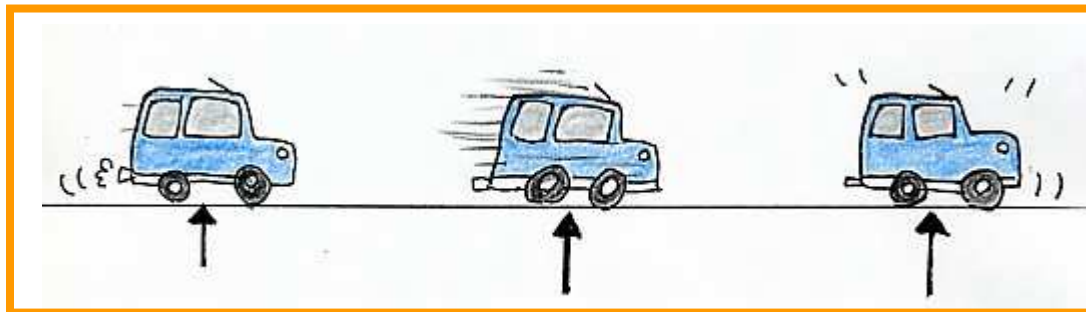


■ 時制・アスペクト →どの時点を中心に述べるか

車が、動きはじめる。

車が、動いている。

車が、動いてしまった。



# ● 検査

- <S－S法>言語発達遅滞検査
- 失語症構文検査(STA)
- 日本語能力テスト
- 独自作成の評価バッテリー

# ● <S-S法> 評価シート

4-1 (2語連鎖)	7	色+事物	(1)/4形式 2:1
		大小+事物	
	6	動作主+動作	
		対象+動作	
3-2 (音声記号)	5	色 (3)/4	(2:10)
		大小	(2:1)
		動作語成人語 (3)/5	(1:10)
		身体部位	
	4	事物名称成人語 /16	(12)/16 1:10 (3)/16 1:7

## ■ 独自作成の評価バッテリー： 構文受信能力

構文受信 評価表 1

構文	解答
I 受動態	
①お母さんが男の子に押される	
②お父さんが女の子に押される	
II 使役態	
①お母さんがお父さんに捨てさせる	
②お父さんがお母さんに捨てさせる	
III 使役受身態	
①お母さんがお父さんに食べさせられる	
②お父さんがお母さんに食べさせられる	
IV あげもらい	
①女の子がお父さんにお花をもらう	
②お母さんが男の子にお花をあげる	
③女の子がお父さんにお花をあげる	
④お母さんが男の子にお花をもらう	

## ■ 独自作成の評価バッテリー： 構文助詞表出能力

構文・助詞表出 評価表 1

構文	発話	助詞入れ	書字
① SV 主格「が」 おかあさんが泣く		が	
② SOV 対象「を」 お父さんがリンゴを洗う		が を	
場所「で」 お父さんがプールで泳ぐ		で	
位置「に」 お父さんが自転車に乗る		に	
手段「で」 女の子がハサミで切る		で	
方向「に」 男の子が学校に行く		に	
方向「から」 男の子が学校から帰る		から	
③ SOOV			
位置「に」+対象「を」 お母さんが箱にボールを入れる		に を	
位置「から」+対象「を」 お母さんが箱からボールを出す		から を	
手段「で」+方向「に」 お母さんが車で海に行く		で に	
④ 可逆文			
主格「が」+対象「を」 女の子がお母さんを叩く		が を	
対象「を」+主格「が」 お母さんを女の子が叩く		が を	

# ■ 独自作成の評価バッテリー： 疑問詞理解信能力

疑問詞 評価表 ○受信

問題	解答
1 <b>なに</b>	
①対象 なにを 飲んでるの？	
②位置 なにに 乗ってるの？	
③手段 なにで 切ってるの？	
2 <b>だれ</b>	
①主格 だれが 洗ってるの？	
3 <b>どこ</b>	
①場所 どこで 泳いでるの？	
②方向 どこに 行くの？	
4 <b>いつ</b>	
①時 いつ 行ったの？	
5 <b>どう</b>	
①動作 足を どうしてるの？	
②方法 どうやって	
6 <b>どうして(なんで)</b>	
①理由 どうして、泣いてるの？	
7 聴解 《お父さんは昨日、駅で、傘を忘れた》 ●なに・だれ・どこ・いつ・どうした	なに      だれ      どこ いつ      どうした



# 発達障害児における文法習得の特徴

## 【発達障害児における文法習得の特徴】

★助詞の誤りが多く、安定しない

★文は短く、複雑化されない(例:関係節の使用に乏しい)

★文理解・表出両面において、語関係よりも語順が優先

→語順方略での停滞

★会話で主導的役割を取ることが少ない

◆障害タイプによる傾向

▪ダウン症:語彙能力に比較して文法発達の伸びが弱い

▪自閉症:対人関係性障害を背景に、助詞使用や語用

# 発達障害児に対する文法指導

# ★文法指導の考え方

文法に対する気づき

→ 局所的文法の指導・習得

→ 文法獲得装置の形成

(自然習得の促進)

# 言語指導の代表的手法

● 語用論的  
アプローチ

● 認知・言語的

アプローチ

★ 言語指導は、

「意味交渉の場」であり、「言語形式への“気づき”を促す場」

# 指導の流れ

# 指導の流れ

- 単語学習 → 文法学習
- 2語連鎖 → 多語連鎖
- 非可逆事態 → 可逆事態
- 局所的文法 → 一般的文法



# ● 単語学習→文学習

■ 習得が望まれる語彙

◆ 動作主の名称（**パパ・ママ・オニイサン**など）

\* 主語を形成

◆ 基礎的な動詞（**タベル・ネル**など）

\* 幼児語・身振り言語でも文構成可能

◆ 形容詞（**大小、色名**など）

\* 形容詞句の構成要素

● 2語連鎖→多語連鎖

2語連鎖



(リンゴ キル)

3語連鎖



(ママガ リンゴ キル)

多語連鎖

(ママガ ホウチョウデ リンゴ キル)

# ● 非可逆事態→可逆事態

非可逆事態 (ママ リンゴ キル)



\* 語意味での処理

可逆事態 (ママ パパ オシチャッタ)

\* 文法での処理

# ● 局所的文法から一般的文法へ

局所的な文法

\* 連語的語結合

クルマに ノル



一般的文法

\* 自由な語結合

ロケットに ノル

ホウキに ノル

# 指導の具体例

# 指導の具体例

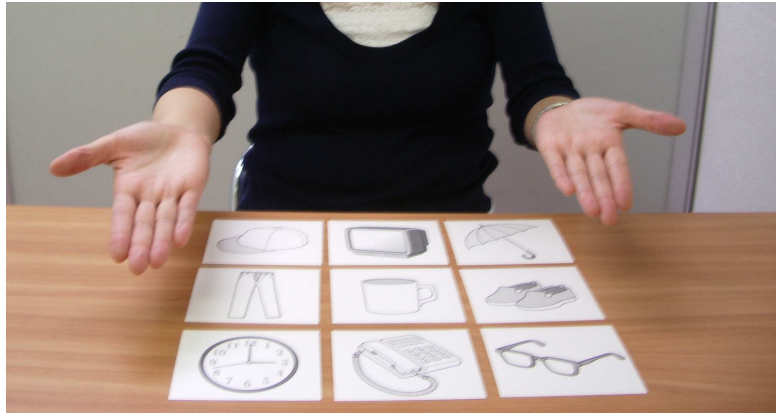
- 聴覚的把持力の訓練
- 文構成要素の把握
- 構文絵カードを用いた訓練
- 助詞学習
- 動詞・形容詞の活用学習
- 作文を用いた学習
- プロソディの練習

# ● 聴覚的把持力の訓練

■ 絵カード・事物の複数選択

■ 遅延課題

# ■ 絵カード・事物の複数選択





## ■ 遅延課題

- \* 「トケイとハンカチ、とってきて」
- \* 「おかあさんに、『おしまい』って  
言って来て」

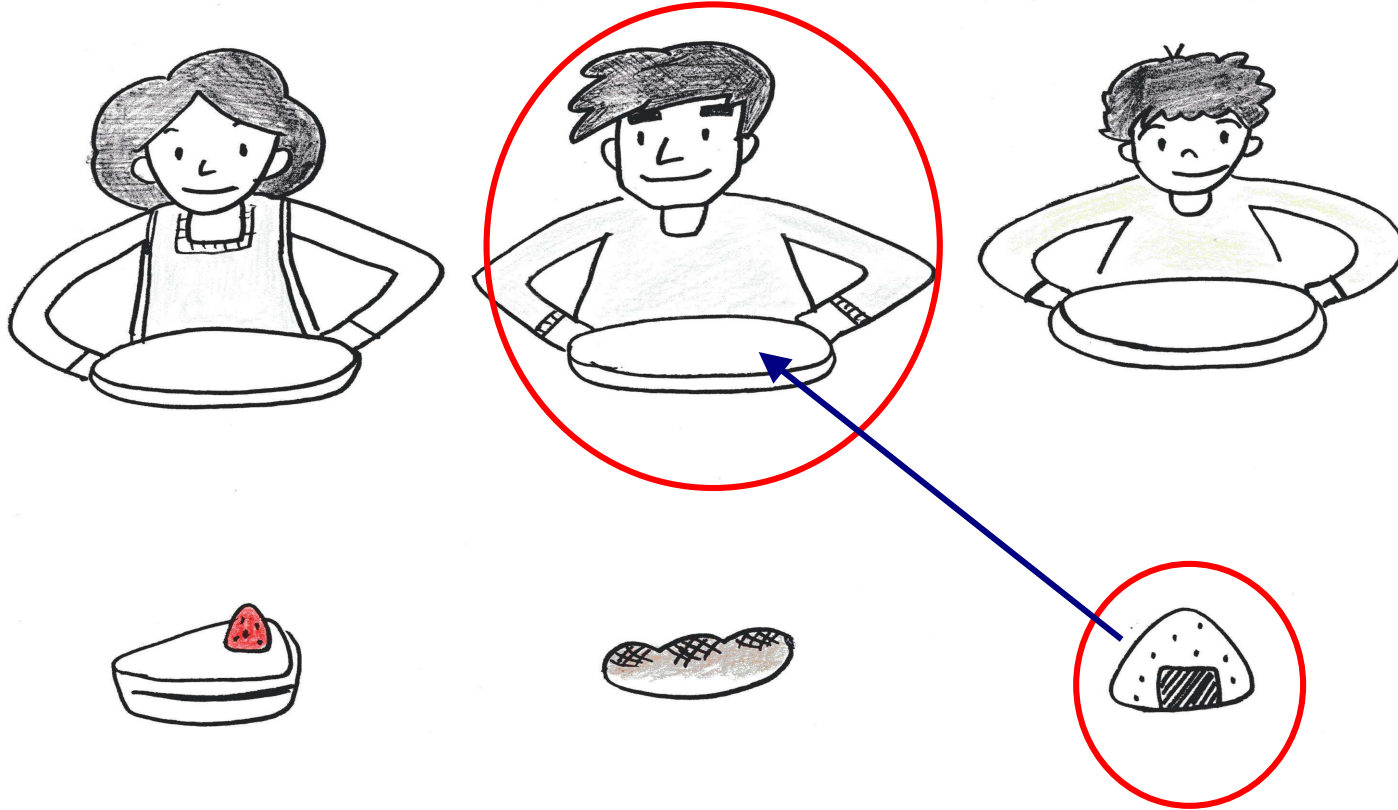
## ● 文構成要素の把握

主語(S)    目的語(O)    動詞(V)



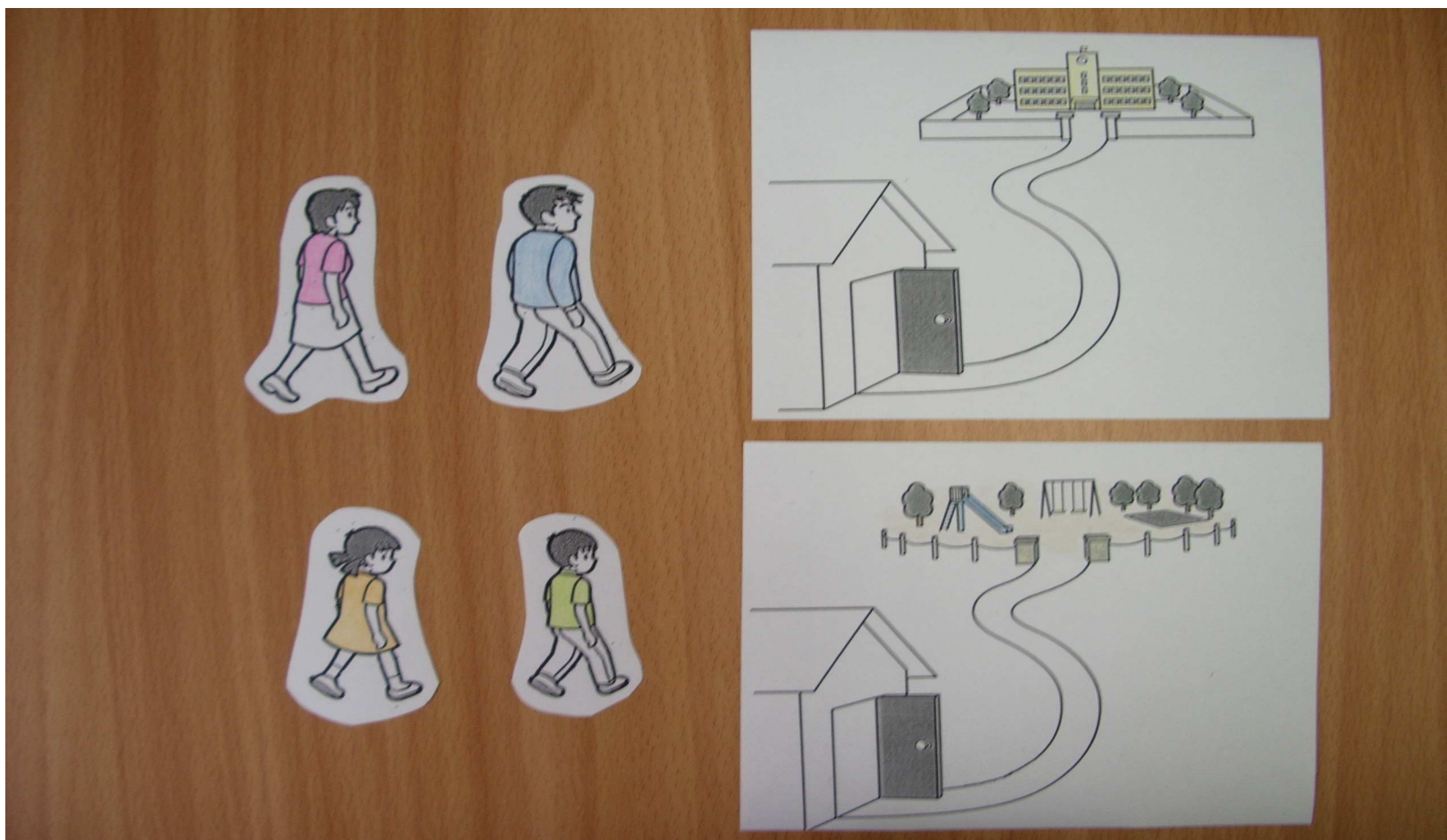
抽出・組み合わせ・配列

# ◆ 語連鎖ネットワーク①



おとうさんの おにぎり

## ◆ 語連鎖カッターワーク②



おかあさんが、がっこうに

# ● 構文絵カードを用いた訓練

■ 受信課題

■ 発信課題

● 構文絵カードを用いた学習 【表出】

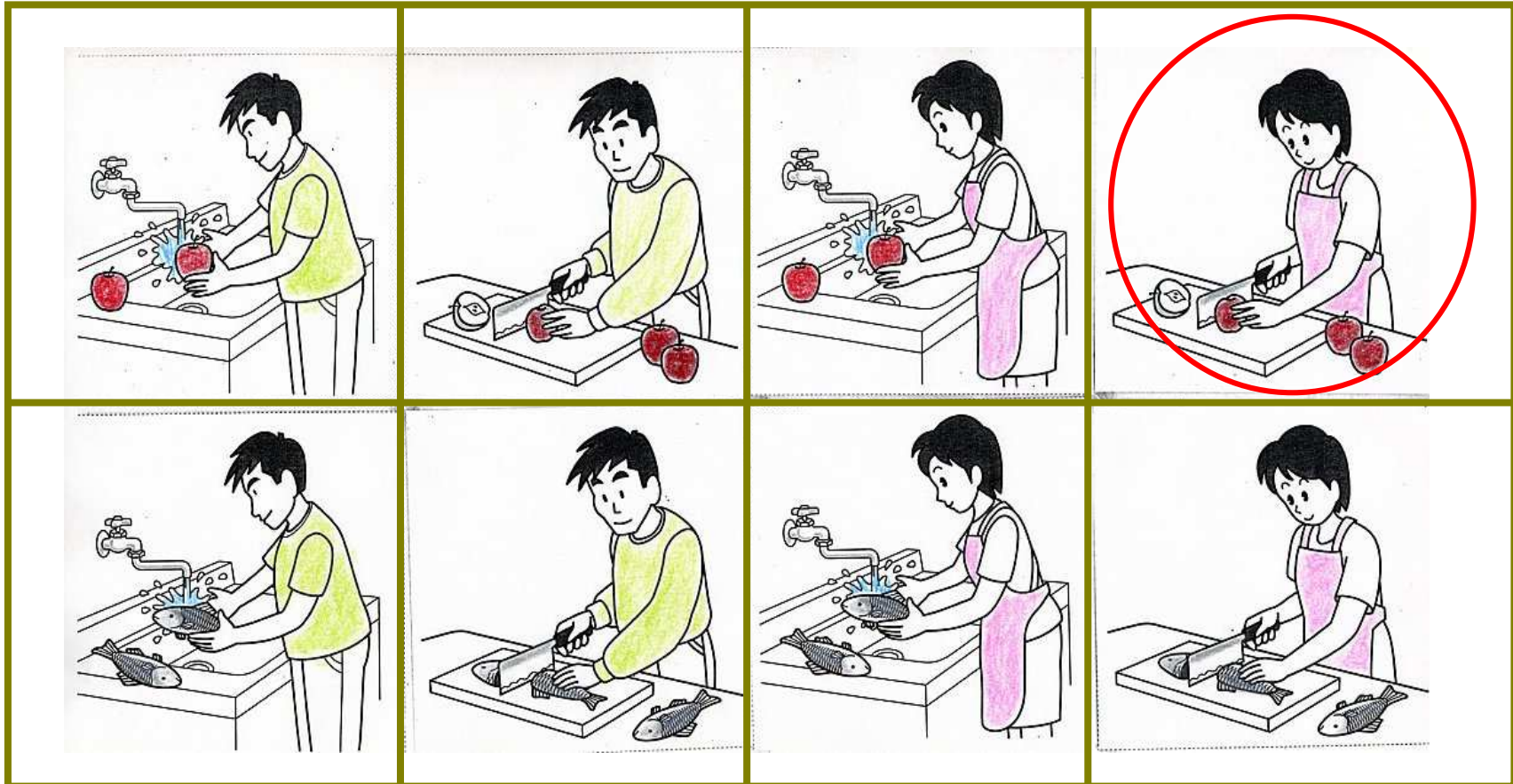
～が ～を たべる



# ● 構文絵カードを用いた学習 【受信】

～が ～を 洗う・切る

おかあさんが リンゴ  
を きる



# ● 助詞學習

■ 助詞補充表出

■ 助詞補充問題



## ■ 助詞補充表出 連語的結合(局所文法)


### ★ 助詞を用いた定型文の表出


#### 《ポイント》


- \* 連語的結合の強い文を選ぶ
- \* パターン練習


# ■ 助詞補充問題 自由結合(一般的文法)

なにぞ たたいてる? ( 月 日)

   たたく

   たたく

   たたく

   たたくものを  
かいてみよう!

## ■ 助詞補充問題

## 助詞の知識化

助詞を 入れよう 1 (

トマトは、

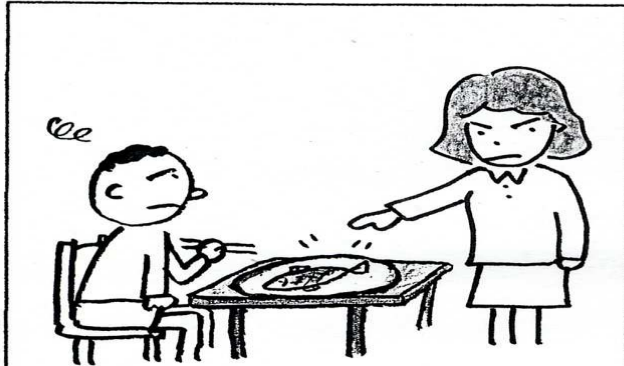
- はたけ( )、つくる。
- やさい( )、なかま。
- サラダ( )、入れる。
- ほうちょう( )、切る。
- いろ( )、赤い。

● 動詞・形容詞の活用学習

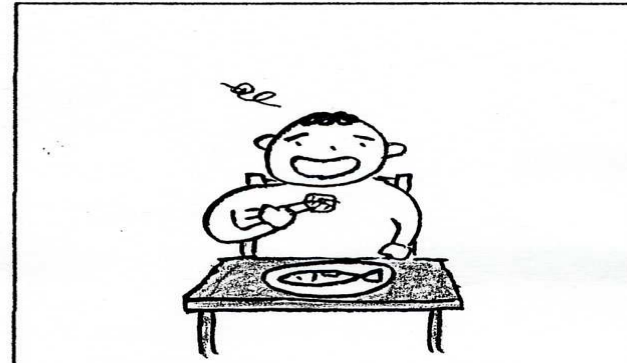
■ 状況絵と対応した活用練習

■ 絵画配列

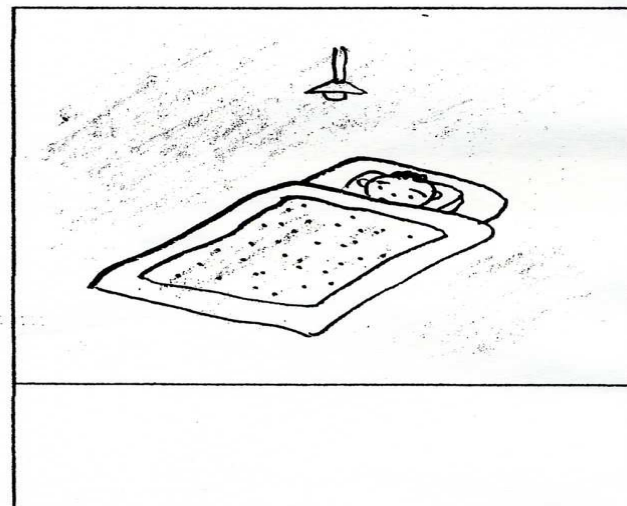
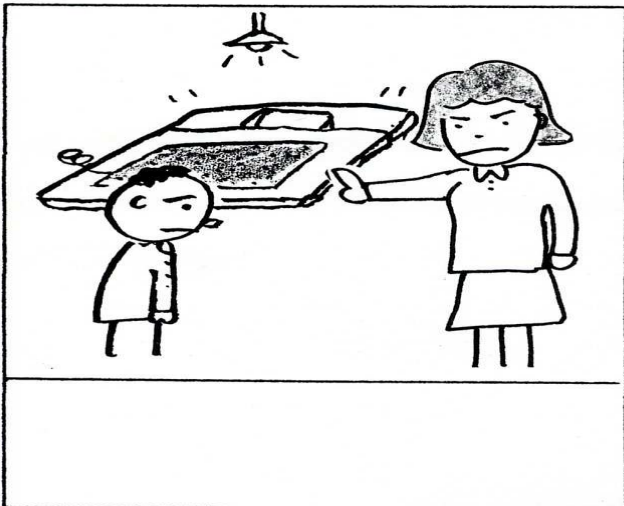
# ■ 動詞活用練習：～なさい



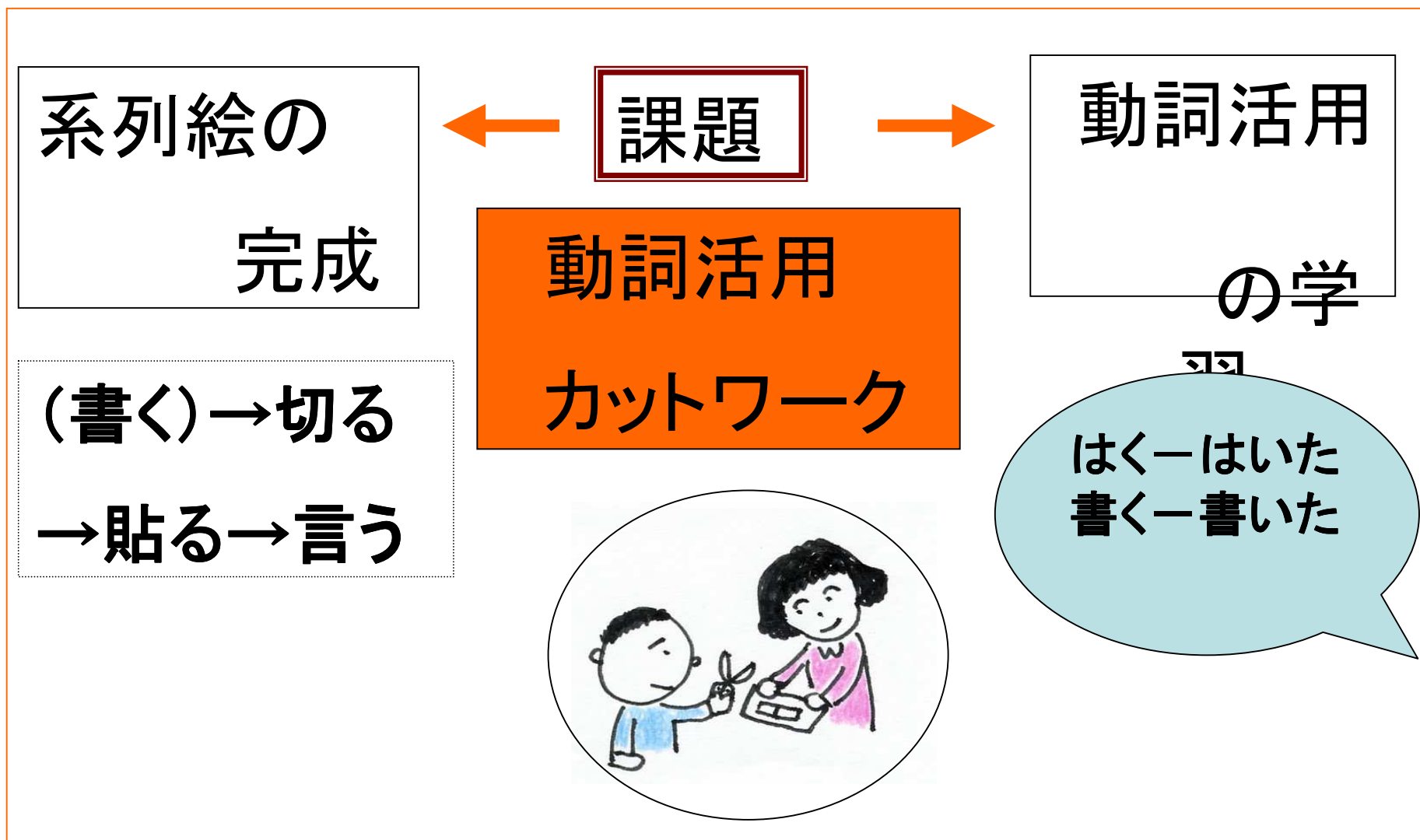
たべなさい



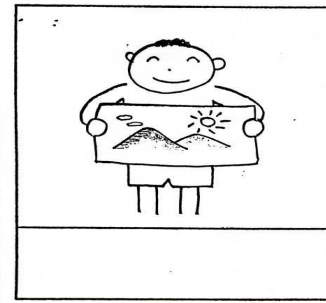
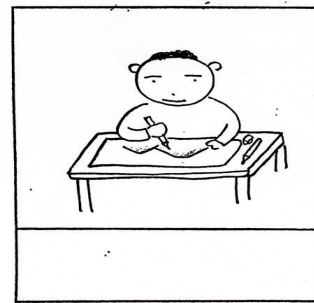
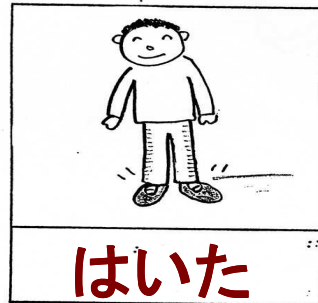
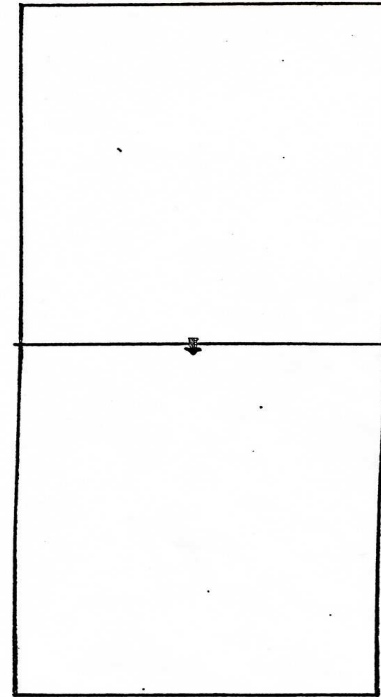
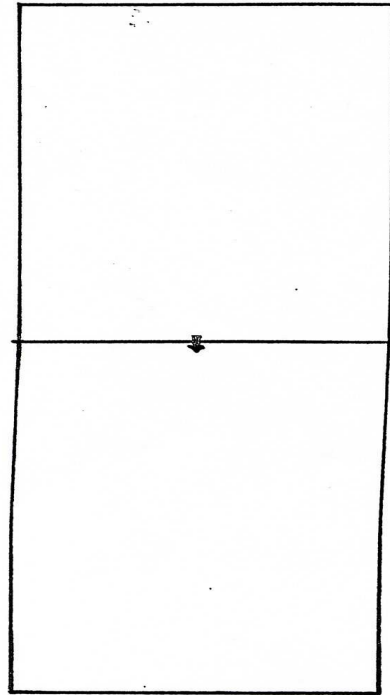
たべる



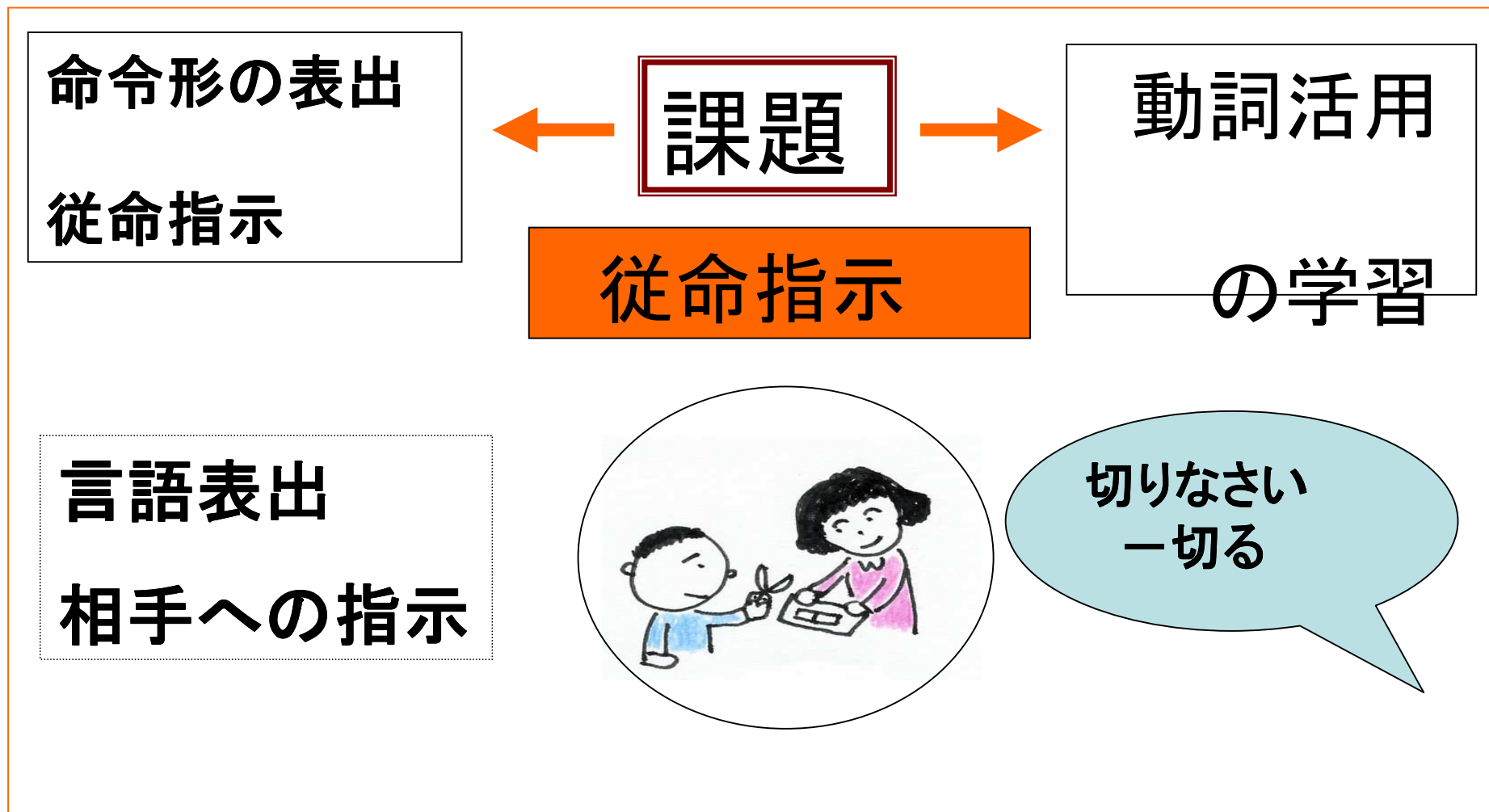
# ■ 動詞活用 + 配列問題



# ■ 動詞活用・配列カットワーク: ~た



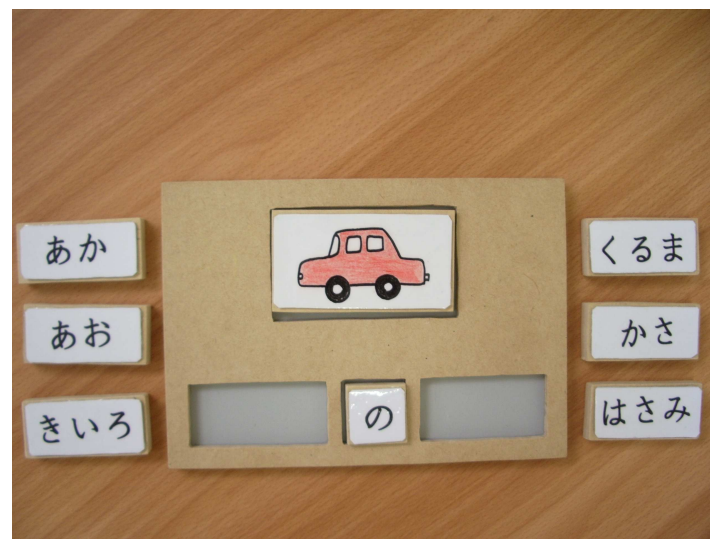
## ◆動詞活用練習②





● 文字を用いた学習

■ 語連鎖はめ板



● 作文を用いた学習

■ ひな形作文の練習

# ■ ひな形作文の練習 さくぶん練習ワーク

さくぶんA-2

テーマ  なんてなくのかな？



( 月 日 )

① **いぬ** は、( **わんわん** )と、( **なきます。** )

★ことばをかえて、文をふたつ つくってみよう。

②  は、( )と、( )

③  は、( )と、( )

★①から③の文を、ぜんぶ かいてみよう。

①

②

③

--	--	--	--	--	--

ことばのテーブル

# ● プロソディの練習

## 音調

- ・アクセント
- ・イントネーション

単語







句



文レベル

# ● プロソディの練習

## 句の練習

①	あ かい ふく	
②	くろい ねこ	
③	しろい かさ	
④	あおい とり	

# ● プロソディの練習

## 1文の練習

### アクセントの練習 「～ません」

アクセントの記号に合わせて、読んでみよう。

①おかしは、なんにもたべません

②あたまがいたくて、たまりません

③あめがちつとも、やみません

# ●プロソディの訓練

## 会話の練習

かわれんしゅう  
会話練習50:八百屋さんで

テーマ



お母さん

こんにちは。

八百屋さん

あ、いらっしゃいませ

お母さん

えーと、ダイコン2本もらえる？

八百屋さん

はい、まいど。ダイコン1本100えんです。

お母さん

それからー、ニンジンも1本、もらおうかな。

八百屋さん

はい、ニンジン1本ね。ニンジンは・・1本50円。

お母さん

ぜんぶで、いくらになる？

八百屋さん

えーと、ダイコン2本、ニンジン1本で・・ぜんぶで 250円です。

練習

- ぜんぶで =みんなで  
100円と30円と20円 →150円  
1組20人、2組23人 → 43人  
赤玉5個と白玉3個 → 8個

語句

※みじかい文を作ってみましょう

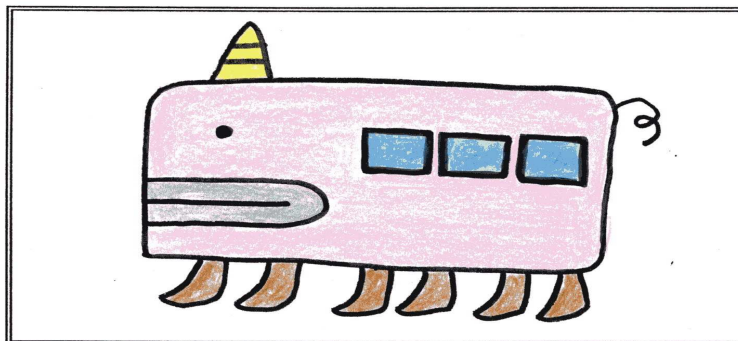
もらう

≡ 買う

いくら

# ● 多様性・多義性

どんなものですか？

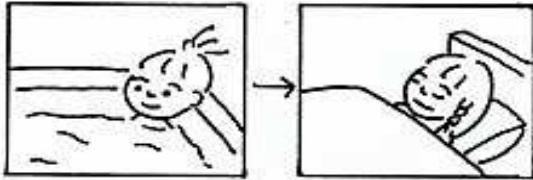




# ● 日本語学習教材の活用

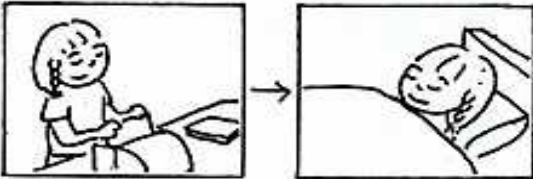
62 か

I 1.

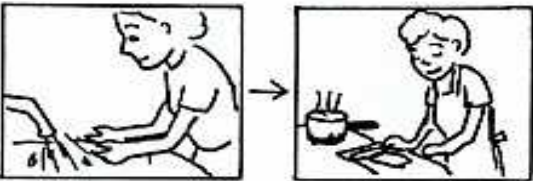


ねる 前にお風呂に  
入ります。

2.



3.



「ひろこさんのたのしいほんご」(凡人社刊)より

日常コミュニケーションの中で

# 日常コミュニケーションの中で

- 概念の育成
- 文に触れる
- 文を広げる
- 語りかけの工夫
- 文を引き出す

# ● 概念の育成

■ 関係性の理解

■ カテゴリー概念

■ 所有の観念

# ●文に触れる

## ■事象の言語化

(動作・状況・感情・想念を文章化する)

# ● 文を広げる

## ■ 意味的随伴性

(リキャスト・拡充・継続 etc)

## ■ 連語の提示

(例：傘をさす・ぐっすり眠る)

# ●ことばを広げる

## ■意味的随伴性

### ①文法情報の付加

子:「ワンワン ネル」

母:「ワンワン<sup>ガ</sup> ネテルネー」

### ②意味の拡充

子:「ケーキ」

母:「ケーキ <sup>オイシイ</sup>ネー」

### ③関連内容の付加

子:「アメ フッテル」

母:「<sup>カサナイト</sup> <sup>ヌレチャウネ</sup>」

# ●ことばを広げる

## ■語の置き換え

例:「ぜんぶで」「みんなで」



## ● 語りかけの工夫

\* 豊かな抑揚・誇張

\* 助詞の強調

## ● 文を引き出す

■ 要求伝達場面の設定

■ 経験の報告を促す

■ より高次の事柄を問う(理由・方法 etc)

おわりに

## 【参考図書】

- 「ことばの発達と障害」 第1巻～第3巻 大修館書店
- 「子どもたちの言語獲得」 大修館書店
- 「言語発達遅滞訓練ガイダンス」 医学書院
  
- 「心の生得性」 共立出版
- 「言語聴覚療法臨床マニュアル」 協同医書出版社